

中野区 基本チェックリストにおける 未回答数と要介護認定者の相関についての調査

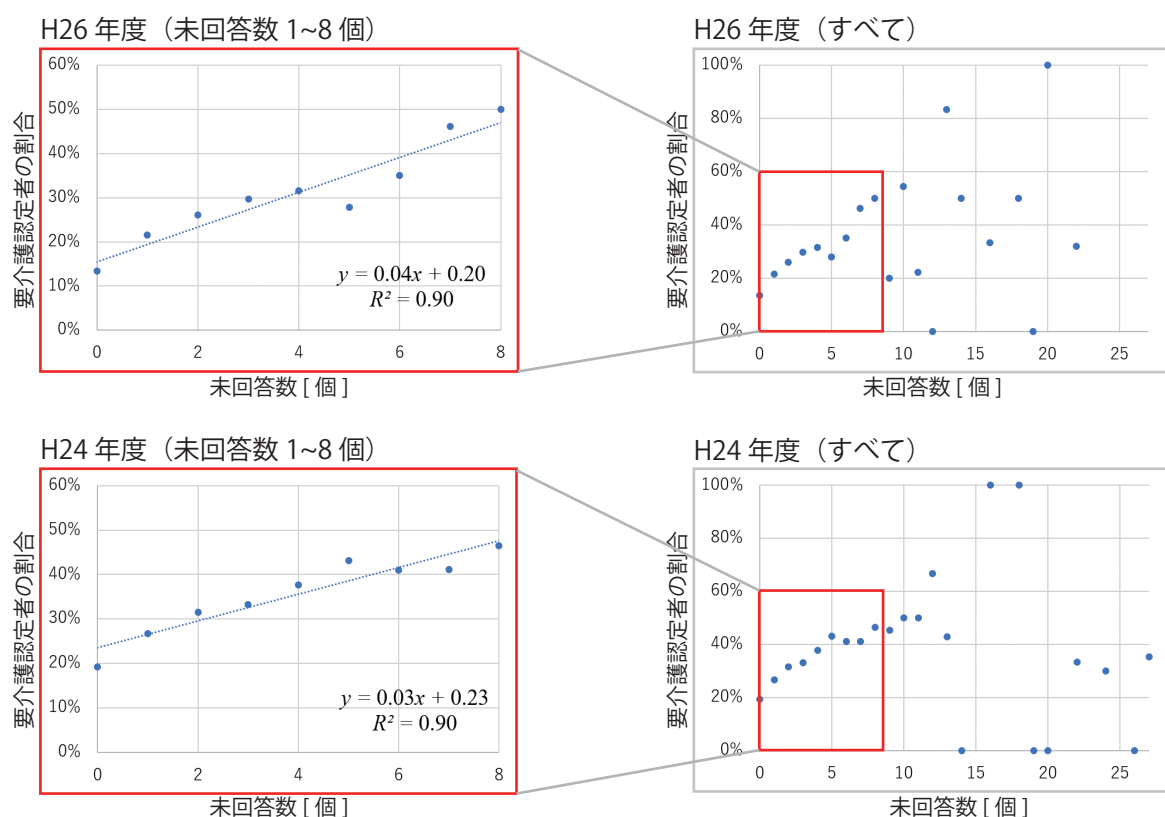
宮下研究室 薄羽大樹 大場直史 下野弘朗 鳥山らいか

はじめに

「中野区 基本チェックリスト」の各参加者の未回答項目の数と、その参加者が要介護認定者（要介護者認定区分で認定された者）であることを調査した。

分析

回帰分析を用いて分析を行った。回帰分析では、決定係数 R^2 が 1.0 に近いほど線形に予測できることを示し、 $y=ax+b$ の a が正であれば増加傾向であるといえる。結果、未回答項目数が 8 個以下のとき、未回答数と要介護認定者の割合に正の相関がみられた。なお、要介護認定者が回答しなかった質問項目の上位 3 件を見ると、質問番号が「11, 5, 24」となっており、後半ほど未回答になるわけではない。



要介護認定者が回答しなかった質問 TOP3 （5027 人中）

- 🏆 「11. 6 ヶ月間で体重が 2~3 キロ減った」 220 人（4.38%）
- 🥈 「5. 家族や友人の相談にのっている」 207 人（4.12%）
- 🥉 「24. 自分が役に立つ人間だと思えない」 182 人（3.62%）



中野区 食育マスコットキャラクター
うさごはん

議論

基本チェックリストに回答した項目が少ない参加者にも目を向けることで、虚弱な人を多く見つけられる。ただし、要介護認定者に回答する意思がないのか、回答する能力が低下しているのかは分からなかった。そこで、基本チェックリストに「未回答」および「回答不可」の選択肢を追加することを提案する。